

平成 23 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 齊 藤 建 次
 (J A S D A Q ・ コード 5 2 7 7)
 問合せ先 役職・氏名
 常務取締役企画室長 飯 牟 礼 聡
 電 話 0 3 - 5 6 8 9 - 6 3 1 1

平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の 業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 6 月 16 日に公表した平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値と決算における実績値との差異 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

① 差異の内容

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,422	96	96	92	円 銭 11.99
実績値 (B)	1,521	115	127	119	15.57
増減額 (B-A)	99	19	31	27	—
増 減 率	7.0%	19.8%	32.3%	29.3%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	1,485	△32	△25	△327	△40.50

② 第 2 四半期累計期間の業績予想との差異の理由

主力のスパンクリート事業が、景気減速によるマンションを始めとする建設需要の減少等により、厳しい経営環境となることを見込んでおりましたが、その影響が想定を下回ったことと、引続き鉄道関連等の需要が好調であったため、売上高、利益とも当初予想を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、上述の通り第 2 四半期累計期間における業績は、計画を上回って推移いたしました。が、欧州の信用不安、急激な円高などが日本経済に与える影響の先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

従いまして、平成 23 年 6 月 16 日付にて公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本紙資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(参考)

平成 24 年 3 月期個別業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
通 期	3, 1 6 0	2 1 5	2 1 5	2 0 5	円 銭 2 6 . 6 4

以 上